

令和5年度（2023年度）

要 覧





「新たな教師の学び」を全力支援

所長 近藤 敏夫

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行され、私たちの生活も徐々に元の生活に戻ってきました。引き続き換気や手洗い、手指消毒、マスクの着用などの有効な感染対策に気を留めながらではありますが、街にも人にも活気が出てきました。ここ希望が丘の自然も例年以上に生命の息吹にあふれているように感じています。

さて、令和3年に中央教育審議会を取りまとめられた「『令和の日本型学校教育』を担う新たな教師の学びの実現に向けて（審議のまとめ）」において、「主体的な教師の学び」「個別最適な教師の学び」「協働的な教師の学び」といった「新たな教師の学びの姿」が示され、教育公務員特例法第22条の5と22条の6に基づき、本年4月1日から「研修履歴の記録と研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励」が実施されることとなりました。

この制度の意義は、教師と学校管理職とが研修履歴を活用して対話を繰り返す中で、教師が自らの研修ニーズと、自分の強みや弱み、今後伸ばすべき力や学校で果たすべき役割などを踏まえながら、必要な学びを主体的に行っていくことにあります。

また「研修履歴の記録と研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励」に先立ち、本年3月末に「滋賀県教員のキャリアステージにおける資質の向上に関する指標」が作成され、「滋賀県教員のキャリアステージに応じた研修体系」も示されたところです。

私たち教員は、教育基本法第9条において、絶えず研究と修養に励むことが規定されています。時代がどのように変化しようとも、子どもたちの道しるべとなるべく、常に学び続け、資質の向上を図り続けなければなりません。

「学び」に関して、プロ野球のソフトバンク前監督工藤公康氏の『大学院も農業も、知れば自分を変えられる』という特集が新聞に組まれていました。現在、筑波大学大学院で博士号取得を目指して研究に励んでいらっしゃるようですが、工藤氏の学び続ける姿のエピソードを紹介します。

工藤氏は、大学院に提出するためのTOEICを受け

た時、4択問題であるにもかかわらず、わからないところは空白で出されたそうです。1点でも高い点を取るために、わからなくてもどれかを選択するところですが、「それだと今後勉強してどれだけ上がったかわからなくなる。今の実力が知りたい」と選択しなかった理由を答えていました。今できていないことは何か。点数を稼ぐよりも、それを知ることのほうが大切だという意識を強く感じます。飽くなき学びの欲求はどこからくるのかとの問いには、「高校時代に制球力がなく思い悩んでいたところ、ソフトボールの指導者からアドバイスを受けた。思いもよらない新たな練習方法だったが、その練習を繰り返すことにより制球力を磨くことができた」と、当時を振り返り「学んで知ること、変わる面白さがわかった」と話されました。

この「学びの心」こそが、選手としても監督としても素晴らしい実績を積み上げられた源ではないかと思います。

今年度当センターでは、「『新たな教職員の学び』を全力支援」をスローガンに、「個別最適な教職員の学び」「協働的な教職員の学び」を念頭に置いて研修・研究事業に取り組んでまいります。

研修事業では、教職員の方々のニーズに応えられるよう情報系の8本を含め13本の新規研修を立ち上げました。このうちの1本の研修は、新たな学びの形態として、1テーマ30分のオンデマンド型研修としました。WordやExcel、PowerPointなどの基本操作を中心とした動画で9本をラインアップしています。個人や学校の研修に活用していただけたらと思います。さらにICTを活用した教育を推進するための教材や事例、研修等を集約したポータルサイトを当センターのHP内に作りしましたので授業等で御活用ください。さらに研究事業においても教育実践モデルとして普及できるよう、先進的・先導的な研究に取り組んでまいります。

今年度も当センターを存分に活用してください。そして未来を担う子どもたちの健やかな成長のために、一緒に力を合わせて頑張りましょう。

歴代所長

滋賀県教育研究所

初代	西村栄次郎	昭28. 4～
2代	溝口 成蔵	昭31. 1～
3代	大谷 勇	昭31. 4～
4代	野崎欣一郎	昭31. 10～
5代	細谷雄次郎	昭32. 4～
6代	梅原與惣次	昭33. 4～
7代	仁志出 基	昭35. 4～
8代	岩崎 武	昭39. 4～
9代	小島市太郎	昭40. 4～
10代	中井 重雄	昭42. 4～
11代	珠久 鶴一	昭44. 4～
12代	国松佐三郎	昭45. 4～

滋賀県総合教育センター

初代	仁志出 基	昭46. 4～	16代	國弘 正義	平14. 4～
2代	藤村 清一	昭51. 4～	17代	橋本源之助	平15. 4～
3代	西村 忠	昭54. 4～	18代	中川 法夫	平17. 4～
4代	松山 義夫	昭55. 9～	19代	馬場 輝代	平18. 4～
5代	吉村 博雄	昭56. 4～	20代	奥村敬一郎	平20. 4～
6代	古川 康男	昭58. 4～	21代	中野 正堂	平21. 4～
7代	三浦 昭	昭61. 4～	22代	北村 清之	平22. 4～
8代	大塚 陽一	昭63. 4～	23代	松村 良樹	平24. 4～
9代	野村 弘	平 3. 4～	24代	小林 庄司	平26. 4～
10代	北川 一幸	平 5. 4～	25代	山仲 幸	平27. 4～
11代	山本 富夫	平 7. 4～	26代	佐敷恵威子	平28. 4～
12代	文室 温晴	平 8. 4～	27代	小倉 啓嗣	平30. 4～
13代	岩本 光恵	平10. 4～	28代	猪田 章嗣	令 2. 4～
14代	田附 紀夫	平12. 4～	29代	近藤 敏夫	令 4. 4～
15代	三田 俊雄	平13. 4～			

滋賀県総合教育センター
イメージキャラクター



センターン

基本理念

取組の重点

子どもたちの「生きる力」を育むために、とりわけ今学校に求められていることは、子どもの学ぶ力を高め確かな学力を身に付けるための授業づくりです。また、学習指導要領の「主体的・対話的で深い学び」の視点を重視した授業、ICTを活用した授業等、これからの学校教育を担う教職員の資質向上を一層図ることも求められています。滋賀県総合教育センターでは、喫緊の教育課題や学校現場のニーズに応じた研修事業や学校等支援事業を展開し、教職員の実践的指導力や専門性の向上を支援します。

また、先進的・先導的な研究事業を推進し、研究成果の普及に努めます。

行動目標

- (1) 教職員のキャリアステージや現場のニーズを反映した「**研修事業**」
- (2) 子どもの学びの質を高める「**研究事業**」
- (3) 学校等のニーズに応じた質の高い「**学校等研修支援事業**」
- (4) 個に応じた対応と適切な支援のための「**特別支援教育相談事業**」



理念図

「新たな教職員の学び」の全力支援



新たな教職員の学び

- 教職員の個別最適な学び、協働的な学びを通じた「主体的・対話的で深い学び」の実現
- 教職生活を通じた学びにおける「理論と実践の往還」の実現

「新たな教職員の学び」に向けた取組

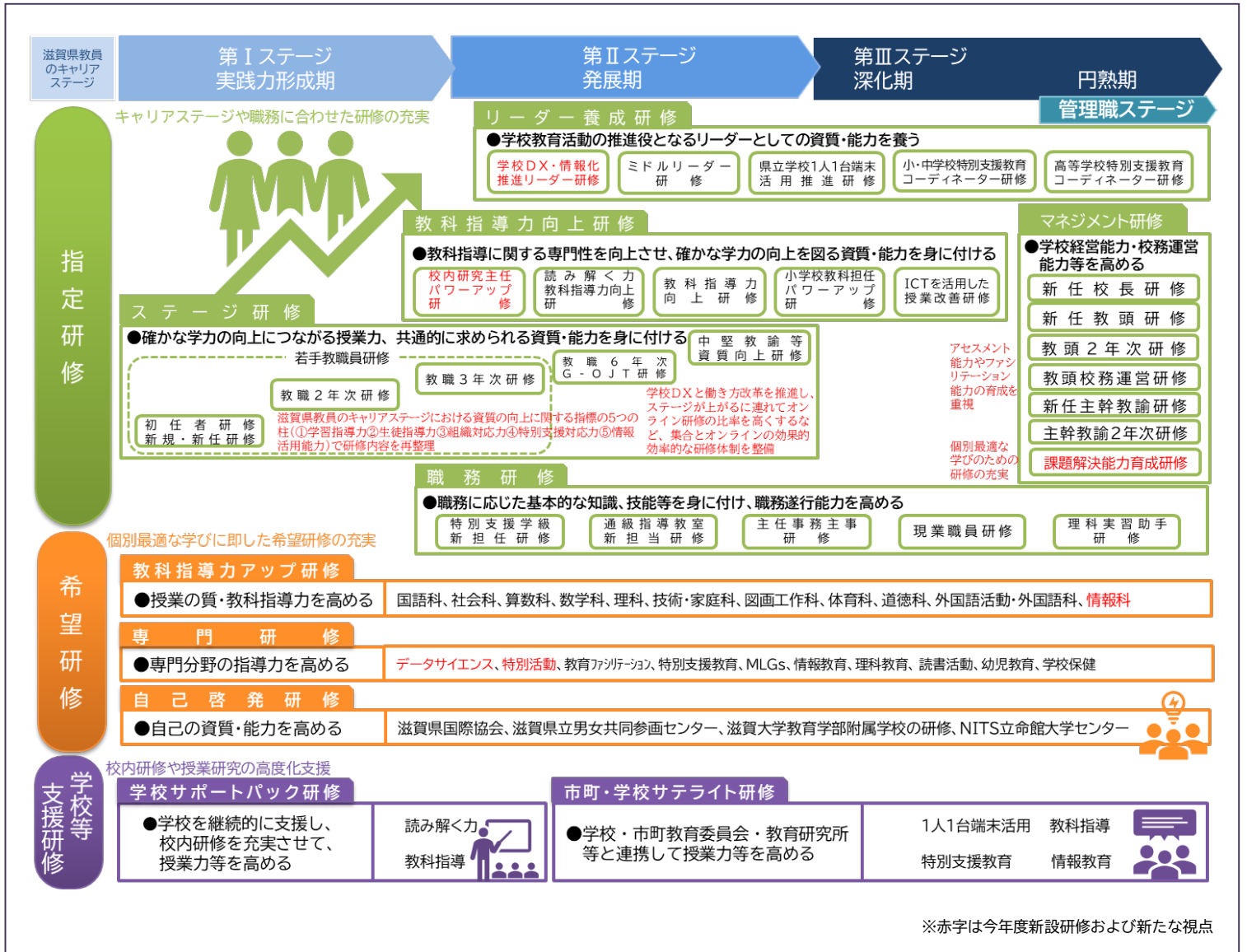
授業改善・資質向上・学校支援・働き方改革を大切にしたい全力支援

- ・キャリアステージごとに求められる資質・能力に応じた研修体系の構築
- ・教職員の個別最適な学びのための研修の充実
- ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の支援
- ・学校DXを推進する効果的・効率的なオンライン研修体制の充実
- ・1人1台端末、デジタル教科書、教育データの利活用の促進
- ・アセスメント能力、ファシリテーション能力の向上の支援
- ・特別な配慮や支援を必要とする子どもへの適切な指導および必要な支援
- ・喫緊の教育課題に応じた研究による学校改善の支援
- ・ステージ研修の日程や研修内容の工夫
- ・研修受講履歴記録と研修成果確認への対応

主 要 事 業



教職員のキャリアステージや現場のニーズに応じた研修



指定研修

協議や演習を活用し、系統性のある研修を行います。

希望研修

個々のニーズに応じて、専門性を高めます。

学校等支援研修

学校や市町教育委員会等と連携して、研修を行います。

子どもの確かな学力の向上のために、自律的に学び続ける滋賀の教職員の皆さんを支援します。研修では、実践的指導力や個々のキャリアに応じた資質・能力の向上を目指します。



主 要 事 業

研 究

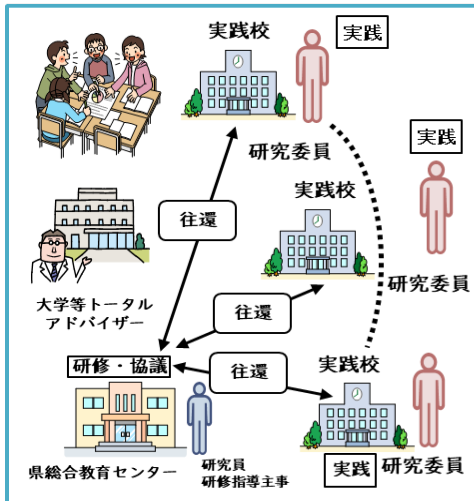
子どもの学びの質を高める研究



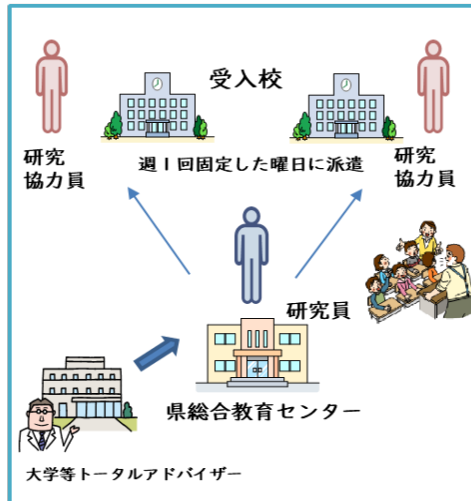
国の動向、県の課題を見すえた「研究」事業を推進することで、先進的・先導的研究を直接学校現場へ普及し、学校改善を支援します。



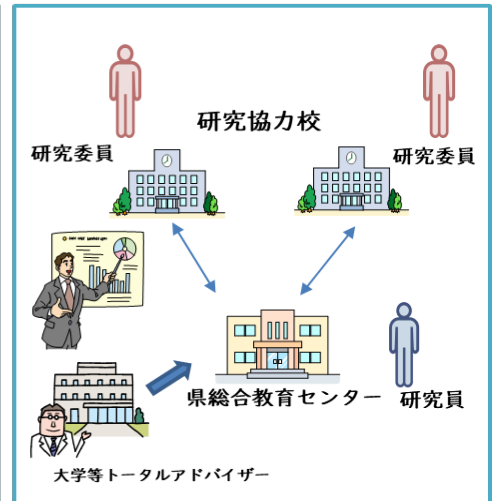
プロジェクト研究



学校派遣研究



課題研究



学校に寄り添う研究

実践的な指導力の向上につながる指定校研究や喫緊の教育課題に応じた研究で、学校改善を支援します。

センター研究成果情報

最新情報です！ぜひご活用ください！

研究紀要・報告書

研究成果物

センターHPで令和4年度までの研究成果を御覧いただけます。

プロジェクト研究

研修と実践の往還による実践力の向上を目指す指導改善研究を実施

学校派遣研究

研究員が毎週1日受入校で勤務し、学校の課題に応じた学校改善研究を実施

課題研究

喫緊の課題に対応した先進的・先導的な教科・領域研究を実施

プロジェクト研究

小・中学校	校内研究活性化に関する研究	「新たな教師の学びの姿」の実現に向かう、小・中学校における校内研究のあり方 ー教員一人ひとりのニーズに応じた「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実を通してー
小学校	小学校特別活動に関する研究	「学ぶ意欲を引き出す学習集団」の形成を目指す小学校の特別活動 ー課題解決の過程の充実を通してー
中学校	中学校国語科に関する研究	自分の考えを形成する資質・能力の向上を目指す中学校国語科の授業改善 ー生徒が主体的に学習に取り組み、これまでの学びを生かすことを通してー
特別支援学校	特別支援教育ICT活用に関する研究	特別支援学校における自分らしい生き方の実現に向けたICT活用による取組のあり方 ー児童生徒の思いや願いを叶える組織的・継続的な取組ー

学校派遣研究

小学校	読み解く力・国語科に関する研究	学びに向かう力の育成を目指す小学校国語科の授業づくり ー「読み解く力」の視点を踏まえた授業の検証・改善を通してー
	読み解く力・算数科に関する研究	学びに向かう力の育成を目指す小学校算数科の授業づくり ー「解決過程を振り返る」場面での学習指導の充実を通してー
中学校	中学校道徳科に関する研究	中学校道徳科における各教科等との関連や内容項目の相互の関連をもたせた授業づくり ー学習履歴を活用した指導と評価の組織的な取組を通してー

課題研究

小学校	情報教育に関する研究	デジタル・シティズンシップの観点を踏まえた児童の情報活用能力の育成 ー活用・自律・行動規範を重視する授業づくり支援を通してー
中学校	中学校外国語科に関する研究	伝え合う力の育成を目指した中学校外国語科の授業のあり方 ーICTを効果的に活用した「Step Up Time」の充実を通してー
高等学校	高等学校理科に関する研究	科学的に探究しようとする態度を養う高等学校理科における指導改善 ー学校間の連携を取り入れた、探究の過程を通じた学習活動ー

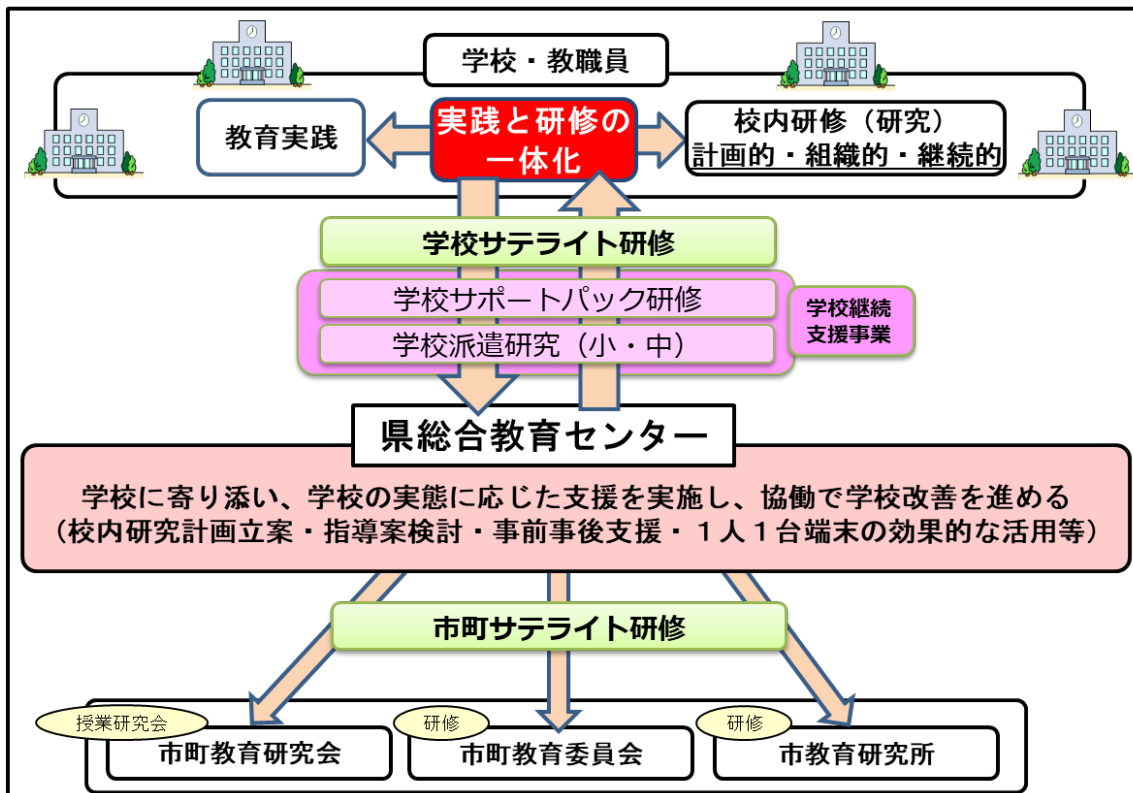
主 要 事 業

学校等研修支援

学校等のニーズに応じた研修支援

○目的

市町教育委員会・教育研究所、学校が行う教員研修および授業研究会において、県総合教育センターが連携して研修を実施し、実践と研修の一体化を図ることによって児童・生徒の確かな学力の確実な定着につなげる。



サテライト研修

○学校サテライト研修

- ・学校からのニーズに応じてセンター所員が出向き、学校支援を行う。
- ・学校の実態に応じた実践的な研修を行うことにより、具体的な学校改善の方向性を示すことができる。

○市町サテライト研修

- ・市町教育委員会等に、センター所員が出向き、センターで作成した研修パッケージを活用することで、センター研修と同様の研修効果が期待できる。
- ・学校現場により近い場所でセンター研修と同様の研修を受講できる。
- ・センター研修と市町教育委員会等で実施している研修との重複を解消できる。

学校継続支援事業

○学校サポートパック研修

- ・学校での授業研究会等に複数回センター所員が出向き、学校を丸ごと支援する。
- ・一貫した学校支援を行うことにより、共通した授業改善の方向性を共有できる。
- ・実践に基づいた研修を行うことにより、教科指導力の向上を図ることができる。

○学校派遣研究(小・中)

- ・センター研究員が、派遣先に出向き、授業支援等を通して当センターの研究成果を広く提供・提案することで、児童・生徒の学力や教員の教科指導力の向上に資するとともに、受入校の課題に応じた学校改善研究を行う。

特別支援教育相談

個に応じた対応と適切な支援のための教育相談

幼児・児童・生徒の発達や行動、学習、集団生活への適応などに関する相談に、専門の相談員が具体的な支援内容等を一緒に考えます。

また、特別支援学級の担任や通級による指導の担当者等の授業づくりや個別ケースの指導・支援に関する相談に応じます。



- 連絡先…TEL 077-588-2505 (教育相談専用)
- 対象…本人(幼児・児童・生徒)、保護者、教職員等
- 方法…来所による相談、電話による相談
- 相談日…月～金曜日(祝日、年末年始等を除く)
- 相談時間…9:00～12:30、13:30～16:30

教育学習情報の発信

当センターホームページでは、日々の教育活動に役立つまざまな情報を発信しています。

- <おすすめ情報> ●研究論文・研究成果物 ●しが「読み解く力」研修動画 ●しが学校教育DXポータル
●学びの基礎チャレンジ ●ガッテン!!プリント ●子どもの「学びの場」

滋賀県総合教育センター

検索



昭和

- 28. 3 滋賀県教育研究所設置規定制定
- 28. 4 滋賀県教育研究所設置（大津市東浦 県庁南別館滋賀県教委事務局内）
- 31. 4 近畿地区教育研究所連盟に加入
- 32. 4 滋賀県学校以外の教育機関の設置に関する条例制定
- 32. 4 全国教育研究所連盟に加入
- 33. 9 滋賀県教育研究所基本規則制定
- 36. 11 都道府県五大市教育研究所長協議会結成加入
滋賀会館に移転
- 38. 3 県庁南別館に移転
- 39. 6 大津県事務所内に移転
- 39. 3 滋賀県教育研究所の設置に関する条例制定
- 40. 4 滋賀県教育研究所基本規則改正
- 41. 1 県庁新別館に移転
- 41. 4 教育特別研修生制度制定、研究員として滋賀大（教）専攻科に1年間派遣
- 42. 3 滋賀県教育研究所基本規則改正（次長制、研究調査、教科研究係設置）
- 45. 10 第1期工事（情報処理棟）着工（野洲町大字北桜）
- 46. 3 滋賀県教育研究所廃止
滋賀県総合教育センター設置および管理に関する条例制定
滋賀県総合教育センターの管理運営に関する規則制定
第1期工事竣工（情報処理棟）
- 46. 4 滋賀県総合教育センター設置
- 46. 7 第2期工事（本館研修棟）着工
- 46. 10 中型電子計算機システム、数値制御工作機械および関連機器設置
- 47. 3 第2期工事（本館研修棟）竣工 教育工学機器設置
- 47. 5 滋賀県総合教育センター竣工開所式
- 48. 2 フーコー振り子設置
- 48. 7 プラネタリウム設置
- 49. 3 天体望遠鏡設置
- 50. 10 第54回全国理科教育センター研究協議会並びに研究発表会（化学部会）開催
- 51. 3 昭和50年度全国産業教育センター所長協議会情報処理教育部会開催
- 54. 9 第83回全国理科教育センター研究協議会並びに研究発表会（初等理科部会）開催
- 54. 12 教育工学機器更新
- 55. 1 中型電子計算機システム更新（FACOM M-160S）
- 56. 1 総合気象観測装置等の設置、理科関係備品充実
- 56. 6 全国教育研究所連盟学校経営協議会開催
- 57. 10 自動製図機設置
- 58. 5 中型電子計算機システム更新（FACOM M-160F）

- 58. 10 昭和58年度都道府県指定都市教育研究所長協議会総会並びに研究発表大会開催
- 58. 10 第117回全国理科教育センター研究協議会総会
- 61. 6 全国産業教育センター所長協議会開催
- 61. 10 全国理科教育センター研究協議会並びに研究発表会（生物部会）開催
- 63. 6 全国教育研究所連盟事務能率化研究協議会開催
- 63. 7 新館建築工事および本館改修工事着工

平成

- 元. 5 新館および本館竣工式
- 2. 10 全国理科教育センター研究協議会・研究発表会開催
- 3. 3 創立20周年記念誌発行
- 7. 7 全国情報処理教育センター指導者協議会第29回滋賀大会開催
- 8. 3 教育用ソフトウェアライブラリーセンター設置
- 8. 6 全国教育研究所連盟総会・研究発表大会開催
- 9. 12 自動気象観測装置、静止衛星「ひまわり」画像受信装置、走査型電子顕微鏡設置
- 10. 10 平成10年度全国教育研究所連盟「学校不適応・教育相談、環境教育、情報教育」等研究協議会開催
- 11. 3 教育情報衛星通信ネットワーク（エル・ネット）の設置
- 12. 4 創立30周年記念所報発行
- 13. 11 全国理科教育センター研究協議会並びに研究発表大会（物理部会）開催
- 15. 7 都道府県指定都市教育センター所長協議会総会・研究協議会開催
- 16. 8 出前研究発表会（安曇川・長浜）実施
- 17. 5 カリキュラムサポート開始
- 18. 5 総合教育センター運営協議会設置
- 21. 10 都道府県指定都市教育センター所長協議会初等理科部会開催
- 22. 6 創立40周年記念所報発行
- 23. 11 第35回全国特別支援教育センター協議会総会・研究協議会（滋賀大会）開催
- 25. 4 学校支援事業として学力向上支援派遣開始
- 27. 4 学校支援事業として学ぶ力向上支援派遣開始
小学校派遣研究開始
- 28. 4 プロジェクト研究開始
- 29. 10 都道府県指定都市教育センター所長協議会物理部会開催
- 29. 11 近畿地区教育研究（修）所連盟発表会開催
- 30. 4 サテライト研修開始
- 31. 4 サポートバック研修開始

令和

- 2. 11 全国教育研究所連盟研究協議会（滋賀大会）
滋賀県総合教育センター創立50周年記念開催
- 3. 2 創立50周年記念所報発行
- 3. 4 全館のトイレを洋式化改修
- 3. 11 創立50周年記念誌発行

案内図



〒520-2321 滋賀県野洲市北桜
TEL 077-588-2311(代表)

077-588-2312(資質向上係)
077-588-2313(学ぶ力向上係)
077-588-2511(科学教育係)
077-588-2512(特別支援教育係)
077-588-2513(情報教育係)

FAX 077-586-0011

URL <https://www.shiga-ec.ed.jp/>

E-mail ma30@pref.shiga.lg.jp

◇JR「野洲駅」から5.4km

タクシー JR「野洲駅」から10分

バス JR「野洲駅」から15分

近江鉄道バス

「花緑公園行き」

・総合教育センター前下車 南へ200m